

科目名称 コンポーネント/パターン指向ソフトウェア開発

概要 本講義では、コンポーネントとパターンをソフトウェア開発に積極的に取り入れた開発手法を紹介し、具体的方法論や適用例を解説する。

前提知識 ソフトウェア開発論、オブジェクト指向分析、設計、実装、ソフトウェア保守

教科書 特になし

参考書 特になし

第()回	担当名	タイトル	講義内容
第1回	丸山勝久	ソフトウェア開発におけるコンポーネントとパターン	コンポーネント指向ソフトウェア開発を紹介し、従来のソフトウェア開発手法との違い、利点をまとめる。また、パターンを取り入れたソフトウェア開発に関して、その概要を紹介する。
第2回	丸山勝久	コンポーネント指向開発方法論	開発方法論として、Catalysis法、UMLコンポーネント法を取り上げ、それぞれのプロセスや特徴をまとめる。
第3回	丸山勝久	コンポーネント指向開発方法論とコンポーネントアーキテクチャ	前回到引き続き、開発方法論として、KobrAとプロダクトライン開発について解説する。代表的なコンポーネントアーキテクチャとその実装技術に関して歴史的背景を紹介する。また、コンポーネント実装技術の具体例として、EJBなどを解説する。
第4回	丸山勝久	ソフトウェアパターン	ソフトウェア開発工程におけるソフトウェアパターンを紹介する。また、分析パターン、アーキテクチャパターン、デザインパターンを解説する。
第5回	丸山勝久	リファクタリング	オブジェクト指向の設計原則と設計を改善するためのリファクタリングについて解説する。